

Les règles de prononciation

語末の子音字の無音化

フランス語の単語は多くの場合、「語末の子音字は無音」、つまり発音されません。

例 : avant, français, beaucoup, grand

ただし、語末に« c », « r », « f », « l »が来る場合、これらの子音は発音されることが多いです。

例 : avec, jour, neuf, journal

単語が形容詞で女性単数形（語末に« e »が付く）の場合、女性形に変化する前は無音だった語末の子音が発音されます。

例 : petit → petite、grand → grande、français → française

Enchaînement

アンシェヌマン（enchaînement）は一般的には「連鎖すること」という意味ですが、フランス語の音声学において複数の語が連鎖した場合、「もともと発音されていた語末子音が直後の語頭母音と結びつき、一体化して発音される調音現象」を表します。

一体化した語末子音と語頭母音は一音節を構成するので、語の区切りと音節の区切りが一致しなくなります。

例 : Il est français, huit heures, sept ans

Liaison

リエゾン (liaison)とは、「発音しない語末の子音字に母音や「無音の« h »」が続く時、この子音字と母音字と一緒に発音する現象です。

発音規則としては以下のとおりです。

- ① -s, -x で終わる単語は、リエゾンするときに [z] と発音します。

例 : vousaimez, deuxhommes

- ② -d, -t で終わる単語は、リエゾンするときに [t] と発音します。

例 : Il est à la maison, un grandhomme

- ③ -n で終わる鼻母音の後に母音字が続いてリエゾンするとき、鼻母音+[n] になります。

例 : Onhest, Moyen hâge

- ④ -f で終わる単語は、リエゾンするときに [v] と発音します。

例 : neufh heures, neufh ans

必ずリエゾンする場合

- ① 限定詞（冠詞、形容詞、所有形容詞）+ 名詞

例 : les amis, un bon homme, son enfant

- ② 人称代名詞 + 動詞

Vous êtes libre ?

Vous avez raison.

- ③ 動詞 + 代名詞

Vas-y ! Profitez-en !

- ④ 一音節の前置詞 + 名詞,冠詞

chez elle, dans une semaine, en avion

- ⑤ 成句

de temps en temps, de mieux en mieux

リエゾンしなくていい場合

- ① pas, mais, devant, après, depuis + 母音

例 : Je ne sais pas encore, devant une fille, depuis un an

- ② その他

例 : Il était en France, Nous allons à Paris.

リエゾンしない場合

- ① 接続詞“et”の前後

Lui et elle, des chiens et des chats, les hommes et les femmes

- ② [単数名詞 + 形容詞] の幾つかの場合

Un sujet intéressant, un savant Anglais

- ③ 有音の« h »の前

Des haricots, les hérissons, des hobbies

- ④ 疑問文で、主語と動詞が倒置しているとき

Pourquoi sont-elles allées à la poste ?

Elision

エリズィオン (élision) とは、le, ce, ne, de, je, me, te, se, que のような、弱母音 e [ə] を持つ短い代名詞、冠詞、接続詞などや la, si のような語に、母音または無音の« h » で始まる単語が後続するとき、前の母音が消滅すること。なお、文章においては消滅した母音字を省略してアポストロフ「'」に置き換えます。これは、母音同士の衝突による発音上の不都合を解消するためのものです。

いくつか例を挙げてみましょう :

La école → l'école

je aime → j'aime

si il → s'il

Que est-ce que ce est? → Qu'est-ce que c'est?